

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）フォローアップ要項（案）

平成28年 月 日

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業委員会

1. 目的

事業の効果的な実施及び事業目標の着実な達成に資するため、選定された各事業の進捗状況や成果等を適切に把握・確認し、必要に応じて指導・助言を行う。

2. 対象・時期

平成27年度に選定された各事業について、公募要領に基づきフォローアップを、毎年度（中間評価実施年度は除く）実施する。

3. 実施体制

(1) フォローアップは、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業委員会（以下「委員会」という。）の下に設置するフォローアップ部会（以下「部会」という。）を中心に行う。

(2) 部会は、選定された各事業に関し、選定に係る審査経過等を熟知している者のほか専門家や有識者によって構成することとする。

(3) 部会は、事業ごとに、フォローアップ担当委員（以下「担当委員」という。）として、原則として部会委員のうち2名の委員を割り当てる（主担当委員1名、副担当委員1名）。

4. 実施方法

(1) 各事業を実施するCOC+大学（以下「COC+大学」という。）は、中間評価を実施する年度の前年度を除く毎年度の事業終了時に実施状況報告書（別紙1）を作成し、委員会に提出する。

(2) 部会は、5. に示す観点に基づき、各事業が適正に実施されているかどうかを提出のあった実施状況報告書で確認し、必要がある場合には現地視察を行い、その際の指導・助言を含むフォローアップ報告書を委員会に報告した上で、COC+大学に開示する。

i) 部会は実施状況報告書及びフォローアップ報告書（別紙2）を基に、現地視察を実施する事業を決定する。

ii) 部会の担当委員は、現地視察を実施した事業について、視察の結果も踏まえて

フォローアップ報告書に現地視察での指導・助言を追記する。

iii) 部会はフォローアップ報告書（別紙3）についてその内容を確認し、必要に応じてコメントを付して委員会に報告した上でCOC+大学に開示する。

(3) 委員会は、フォローアップ結果の概要を作成し公表する。また、フォローアップ報告書に示された課題及び現地視察での指導・助言に対する各事業の対応状況については、中間評価及び事後評価において確認し、評価に反映させることとする。

なお、フォローアップの過程で、進捗状況に著しい問題があると部会が判断した場合は、委員会へ報告した上で委員会の決定に基づき、事業の中止も含めた計画の見直しを求めることもありうるものとする。

5. フォローアップの観点

以下について、当初の計画（選定時や中間評価時に付された留意事項を踏まえ当初の計画を見直している場合は、見直し後の計画）に沿って順調に進捗しているか、また、事業の趣旨に照らして適切に進捗しているか確認する。

- ①選定時及び中間評価時に付された留意事項への対応はなされているか。
- ②達成目標と事業内容は順調に進捗しているか。
- ③事業の実施体制は補助期間終了後の継続発展も含め適切に構築されているか。
- ④事業経費の支出内容は、費用対効果を含め、妥当であるか。
- ⑤その他の必要な事項

6. 現地視察の実施方法等

(1) 参加者

<部会委員>

部会委員2～3名。1名は担当委員とする。

<事業側対応者>

- ・〈必須〉COC+大学における事業担当者、事業参加学生
- ・〈必要に応じ〉事業協働機関を含めた関係教員・職員等

(2) 現地視察スケジュール例（概ね3時間半程度）

時刻	事項	所要時間
13:30～13:45	部会委員打合せ	15分
13:45～15:00	事業担当者等からの説明及び質疑応答	75分
15:00～16:00	事業参加学生との意見交換	60分
16:00～16:40	教育現場・施設等の視察	40分
16:40～16:55	部会委員打合せ	15分
16:55～17:00	講評	5分

7. その他

(1) 公表等

- i) 部会の会議及び会議資料は、原則、非公開とする。
- ii) COC+大学の作成する実施状況報告書における「進捗状況の概要」及びフォローアップ結果の概要については、日本学術振興会ホームページにおいて公表する。
- iii) 部会委員の氏名等は、進捗状況の概要及びフォローアップ結果の概要の公表後に公表する。

(2) 利害関係者の排除

事業に以下の利害関係がある部会委員は、当該事業のフォローアップを行わないものとする。

(利害関係があるとみなされる場合の例)

- ・部会委員が当該 COC+大学若しくは COC+参加校の専任若しくは兼任の教職員又は役員として在職（就任予定を含む）又は3年以内に所属していた場合
 - ・その他部会委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断されるもの
- 部会委員は上記に留意し、利益相反の事実あるいはその可能性がある場合には速やかに事務局に申し出るとともに、当該事業についてのフォローアップを行わないこととし、会議においても当該事案に関する個別審議については加わらないこととする。

(3) 情報の管理、守秘義務、実施状況報告書の用途制限

- i) フォローアップの過程で知り得た個人情報及び審議内容に係る情報については外部に漏らしてはならない。
- ii) 部会委員として取得した情報（実施状況報告書等各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理する。
- iii) 審議に係る資料等は、事業のフォローアップを行うことを目的とするものであり、その目的の範囲内で使用する。

**地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）
平成○年度 実施状況報告書（案）**

COC+大学分

COC+大学名			整理番号	
事業名				
事業のキーワード				
事業 協働 機 関	参加校			
	参加自治体			
	参加企業等			
事業の一部を協力する大学				

事業責任者	職名・氏名	
事務担当者	職名・氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-Mail	

<概要>

事業のポイント（400字以内）
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 計画調書から転載 </div>

(COC+大学名： 、事業名：)

COC 認定大学分

COC 認定大学名		整理番号	
事業名			
事業のキーワード			

事業責任者	職名・氏名	
事務担当者	職名・氏名	
	電話番号	
	F A X 番号	
	E - M a i l	

<概要>

事業のポイント (400 字以内)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>計画調書から転載</p> </div>

(COC+大学名： 、事業名：)

進捗状況の概要（1 ページ以内）

平成 27 年度の進捗状況を記載

<実施状況>

1. 選定時及び中間評価時に付された留意事項への対応（COC+大学、COC 認定校ともに記載すること）
（3 ページ以内。ただし COC 認定校を含む事業については 6 ページ以内）

選定時及び中間評価時に付された留意事項を
転載

平成 27 年度の状況を記載

（COC+大学名： 、事業名： ）

2. 達成目標と事業内容（4～6ページ以内）（1）2ページ以内 （2）2ページ以内。ただしCOC認定校を含む事業については4ページ以内。

（1）【定量的な達成目標の達成状況】

下記に申請時に設定している独自の定量的な達成目標を加えた図を作成した上で、それに関する平成27年度の達成状況や進捗状況について記載

目標	H27 実績	H28 目標	H31 目標
事業協働地域就職率	○%		
うち COC+大学	○%		
事業協働機関へのインターンシップ参加者数	○人		
うち COC+大学	○人		
事業協働機関からの寄附講座数（申請時に「寄附講座」以外の取組を記載した場合その名称とすること）	○講座		
うち COC+大学	○講座		
事業協働機関雇用創出数	○人		
大学以外の事業協働機関による事業への満足度	○%		

（COC+大学名： 、事業名： ）

(2) 【(1) 以外に関する進捗状況】

(1) 以外に関する平成 27 年度の進捗状況について記載。ただし①～⑥の項目について必ず定量的な指標を用いて説明すること。(COC+大学、COC 認定校ともに記載すること)

- ① 地域志向科目開設科目数
開設済地域志向科目におけるアクティブラーニングの導入状況 (割合)
- ② 学生の取組に対する認知状況 (割合)
- ③ 学生の地域志向科目受講状況、受講による地元就職意欲の喚起状況 (割合)
- ④ 大学教職員の取組に対する認知状況 (割合)

3. 事業の実施体制の構築（1 ページ以内。ただし COC 認定校を含む事業については2 ページ以内）

平成 27 年度の進捗状況を記載。ただし①
について、必ず定量的な指標を用いて説明
すること。（COC+大学、COC 認定校ともに
記載すること）

- ① 連携自治体、企業等のコストシェアの状況（人的、物的、財政的支援等）

（COC+大学名： 、事業名： ）

4. 事業経費（2 ページ以内。ただし COC 認定校を含む事業については 4 ページ以内）

文部科学省に提出した平成 27 年度の実績報告書のうち、「費目別収支決算書」に記載した「補助事業に要した補助対象経費の額等」を費目毎に転載し、その内訳として、「補助対象経費別内訳対比表」に記載した「実支出額」を転載（COC+大学、COC 認定校ともに記載すること）

（COC+大学名： 、事業名： ）

<その他>

5. その他、取組の成果等（0.5 ページ以内。ただし COC 認定校を含む事業については 1 ページ以内）

取組の成果等特記すべき事項等があれば掲載
(COC+大学、COC 認定校ともに記入すること)

(COC+大学名： 、事業名：)

部会提出用

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
平成〇年度フォローアップ報告書(案)

作成者 _____

COC+大学名		整理番号	1
事業名			

1. 選定時及び中間評価時に付された留意事項への対応	
■特に順調に進捗している点	
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)	
2. 達成目標と事業内容	
■特に順調に進捗している点	
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)	
3. 事業の実施体制の構築	
■特に順調に進捗している点	
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)	
4. 事業経費	
■特に順調に進捗している点	
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)	

5. その他、取組の成果等

■特に順調に進捗している点

■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)

6. 全体の取組について

■特に順調に進捗している点

■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)

【現地視察について】

現地視察の必要の有無

有 (※現地視察の必要理由及び事前質問事項)

無

※現地視察を必要とする理由

※事前質問事項(フォローアップ部会で現地視察の必要ありとされた場合のみ大学へ送付)

- ①
- ②
- ③

7. 現地視察での指導・助言 ※現地視察後記入。

委員会報告用・
大学開示用

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
平成〇年度フォローアップ報告書(案)

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業委員会
フォローアップ部会

COC+大学名		整理番号	1
事業名			

1. 選定時及び中間評価時に付された留意事項への対応	
<p>■特に順調に進捗している点</p> <p>■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)</p>	
2. 達成目標と事業内容	
<p>■特に順調に進捗している点</p> <p>■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)</p>	
3. 事業の実施体制の構築	
<p>■特に順調に進捗している点</p> <p>■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)</p>	
4. 事業経費	
<p>■特に順調に進捗している点</p> <p>■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)</p>	

5. その他、取組の成果等
■特に順調に進捗している点
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)
6. 全体の取組について
■特に順調に進捗している点
■課題(今後対応状況の確認を必要とする点)
7. 現地視察での指導・助言